

事前評価個表

整理番号	38
------	----

地域（地区）名	<small>しょうかわ</small> 庄川地域	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	富山県	対象市町村	高岡市ほか5市町
事業実施期間	H23 ~ H27（5年間）	事業実施主体	県、市、森林組合、農林水産公社等

事業の概要・目的	<p>当地域は富山県の県西部に位置し、高岡市、氷見市、小矢部市、射水市、砺波市、南砺市の総面積の約56%にあたる83千haの森林のうち民有林74千haを対象とする。</p> <p>寒ブリで有名な富山湾から岐阜県境の山間部まで対象となり冬期間に山間部では最大積雪深が3mを超える豪雪地帯である。また、地区の主要な産業は、農林業や建設、観光であり、地域内には世界遺産の「菅沼合掌集落」もあることから年間100万人を超える観光客の入込みがある。</p> <p>林況は、スギを主体とした人工林をはじめブナやコナラの広葉樹を主体とした天然林で占められている。人工林の齢級構成は間伐の対象である4齢級～12齢級が84%を占めている。</p> <p>当計画区間の41%は水源かん養機能・山地災害防止機能などの保安林であり、森林が持つ公益的機能発揮が強く求められている。</p> <p>しかしながら、木材価格の低迷や山村地域の過疎化による労働力の減少により間伐などが必要な施策が行われず森林の多面的機能の発揮が損なわれることが危惧される状況となっていることから、本事業により施策の集約化、林内路網の整備等を図り低コストな森林整備を実施することで、森林の多目的機能の発揮を維持し、かつ間伐材を安定的・持続的に供給する体制を構築し山村の活性化を図ることを目的とする。</p> <p>また、路網が整備されることにより、間伐等の森林整備において、作業の軽減、低コスト化が図れることから、森林施策の推進、森林資源の利活用に伴う森林の公益的機能の増進が図られる。</p> <p>路網整備においては、地山に沿わせて施工することで切土、盛土を減らし動植物の生息に配慮しながら低コストで整備する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：5,402ha 人工造林、下刈り、雪起こし、枝打ち、間伐、森林作業道等</p> <p>路網整備：295m 林業専用道開設</p> <p>総事業費：1,376,093千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 11.67 (総便益(B) = 31,569,888千円、総費用(C) = 2,703,506千円)</p>
評価結果	<p>必要性：保育対象林分の現状からみて必要性が高い。</p> <p>効率性：投下する費用を上回る効果が見込まれることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：健全な森林づくり等によって水源涵養、土砂流出防止等の森林の有する多面的機能の発揮に有効である。</p> <p>森林の持つ多面的機能の高度発揮を図る観点から、立地条件に応じた多様な森林資源の整備を実施し、効率的な森林施策や森林の適正管理を計画的に推進することにより健全な森林資源の維持増進を図ることが重要である。</p> <p>本計画は、造林から保育にわたり適切に計画されており、効率性・有効性が認められることから、森林環境保全整備事業計画として実施することが適当である。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業
地域名: 庄川

富山県
(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	11,970,383	
	流域貯水便益	2,920,568	
	水質浄化便益	4,985,840	
山地保全便益	土砂流出防止便益	6,301,060	
	土砂崩壊防止便益	554,976	
環境保全便益	炭素固定便益	2,624,169	
木材生産便益	木材生産確保・増進便益	2,193,325	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	3,366	
	森林管理等経費縮減便益	587	
	森林整備促進便益	15,614	
総 便 益 (B)		31,569,888	
総 費 用 (C)		2,703,506	
費用便益比	$B \div C = \frac{31,569,888}{2,703,506} = 11.67$		

森林環境保全整備事業 庄川地域（富山県）概要図

S=1:300,000



氷見市

高岡市

木材市場

射水市

小矢部市

砺波市

南砺市

凡例	
計画区界	—
事業区域	—
森林整備	—

